

日中平和友好条約締結 40 周年記念
特別企画

「中国近代絵画の巨匠 齊白石」

■会期:2018年10月30日(火)~12月25日(火)

■会場:東京国立博物館 東洋館8室

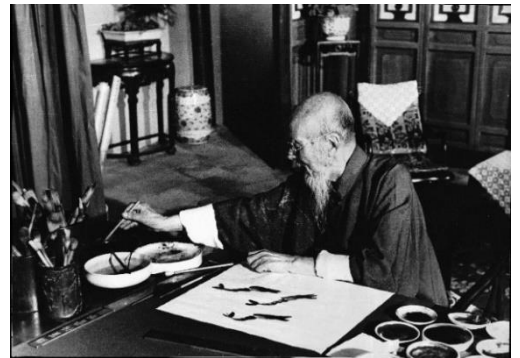
本年は、日中平和友好条約の締結から 40 周年にあたります。これを記念し、北京画院の所蔵品を通じて、中国近代絵画の巨匠・齊白石せいはいくせきのひとと芸術を広く紹介する展覧会を開催いたします。

齊白石(1864-1957)は、「人民芸術家」の称号を与えられた、現代中国で最も有名かつ人気のある画家の一人です。湖南省湘潭しょうたんの貧家に生まれ、はじめは大工・指物師として生計を立てました。のちに画譜や古画を熱心に学び、写生に励み、やがて北京に出て、画家として大成しました。

齊白石は、明るく華やかな彩色と、簡潔で力強い筆線、自由自在な墨の広がりを駆使し、山水・花鳥・魚・蝦などの主題を幅広く手がけています。人物モチーフに注ぐユーモラスで愛情に満ちたまなざし、小さな昆虫に対する精緻な観察眼も見逃せません。また、書家・篆刻家としても高い評価を得ています。

北京画院は 1957 年に成立した、中国で最も古く、規模の大きな美術アカデミーです。創作と研究、人材の養成を通じて、中国美術界の発展と、文化を通じた国際交流に努めてきました。初代の名誉院長に齊白石を迎え、その優品を多く所蔵することでも知られています。

今の中国が誇りとする画家はどのような人物で、どのような作品を描いていたのでしょうか。本展を通じて、齊白石の魅力を知っていただければ幸いです。



書斎の齊白石（広報画像1）

【開催概要】

□展覧会名 日中平和友好条約締結 40 周年記念 特別企画「中国近代絵画の巨匠 齊白石」

□会 期 2018年10月30日(火) ~ 12月25日(火)

□会 場 東京国立博物館 東洋館8室

□開館時間 午前9時30分~午後5時、金・土曜、10月31日(水)、11月1日(木)は~午後9時

□休館日 月曜日(ただし、12月24日[月・休]は開館)

□入館料 一般 620 円(520 円)、大学生 410 円(310 円) 総合文化展観覧料でご覧いただけます

* ()内は 20 名以上の団体料金 * 高校生以下および満 18 歳未満、満 70 歳以上は無料

* 障がい者とその介護者 1 名は無料

□主 催 東京国立博物館、北京画院、朝日新聞社

□後 援 中華人民共和国駐日本国大使館

□お問合せ 03-5777-8600(ハローダイヤル)

※本展は京都国立博物館に巡回いたします(2019年1月30日[水]~3月17日[日])

■主な出展作品



きくかぐんけいず
菊花群鶏図 〔後期〕

目に鮮やかな菊花や鶏の羽の色彩、小さな墨の滲みであらわされたヒヨコたちのふわふわした質感、かわいらしさが魅力です。（広報画像 2）



しゃくざんず
借山図(第三図) 1910年 〔前期〕

齊白石は40歳を過ぎてから、中国各地を旅する機会を得、多くのスケッチを残しています。その山水画には、実際の景観を見て得た感興が率直に反映されています。本図は比較的初期にあたる山水画の代表作です。（広報画像 4）

〔前期〕…前期展示(10月30日[火]~11月25日[日])

〔後期〕…後期展示(11月27日[火]~12月25日[火])

* 作品はすべて齊白石筆、北京画院蔵



こうちゅうがさつ
工虫画冊(第一図) 1949年 〔前期〕

齊白石は昆虫をよく観察・写生し、触覚や脚の細部に至るまで緻密に描き出しています。（広報画像 3）



せいへいふくらいず
清平福来図 〔後期〕

蝙蝠は中国語で「福」と、瓶は「平」と音が共通する吉祥モチーフです。「清平福来」は太平の世に福が来るという意味で、ずんぐりした体形の老人が、平和の象徴である瓶で、福をキャッチしようという趣向の作品です。（広報画像 5）

【報道に関するお問合せ(東京展)】「齊白石」展広報事務局 担当: 富樫、大原

TEL:03-3237-3124 FAX:03-3237-3122 E-mail:jtogashi@annex-inc.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-13 神保町MFビル 701